

## トリンコマレ県における幼い子どものケア事業（第3期）

### 事業実施前の様子



トリンコマレ県では開発が進む一方で、本事業対象村落のように、かつての内戦中による避難民の帰還が完了してから1～2年しか経たない村々もあります。そうした村々では、生活再建の必要性から子どもを預ける施設が必要とされているほか、早期幼児教育という観点からみても、幼稚園が存在しないことで、子どもたちの教育を受ける権利に格差があることが明らかになっています。（写真：2010年に帰還したムトゥール県ナワラディ村にて）



現地スタッフと本事業の実施計画について協議する SCJ 駐在員

## 活動 1.ECCD 環境設備の完了



避難民の帰還が完了して間もない村々では、幼稚園の建て替えや遊具・教材の提供を行います。(写真：ムトゥール県ナワラディ村の仮設園舎で授業を受ける子ども達)



フェンスがない、段差があるなど子どもが事故にあう可能性のある園庭の整備を実施し、より子どもにやさしく、かつ障がいを持つ子どもに配慮した環境を提供します。

(写真：ムトゥール県パラディプラム村の ECCD センターのフェンス)

## 活動2：ECCD維持管理体制の体制的・質的強化



第2期で実施した教員研修により多くの幼稚園教員の意識・知識の向上が見られました。今後は幼稚園内での学習や遊戯の質を維持していく必要があり、研修の内容も「学んだことの実践」から「学んだことを応用」して、より創造性豊かなものにしていく内容が求められています。(写真：2期で支援したダルカナイチェナイ村の幼稚園での授業風景)



教員が政府から給与を得るためには、教員資格が必須です。教員の質を上げ、幼稚園での活動を継続できるよう、10ヶ月間の資格コースを実施します。(写真：2期でスランガニ基金と協同で実施した教員研修の様子。今期も同基金と協同で資格コースを実施予定)





教員たちの待遇が向上し、事業終了後も引き続き幼稚園において質の高い活動が継続されるようになるためには、州政府の能力向上が必要不可欠です。本事業では州政府の担当部局がトリンコマレ県での幼稚園の実情をきちんと把握できるよう、同局職員対象にデータ収集研修を実施します。(写真：2期で弊社スタッフ対象に実施したデータ収集の様子)

### 活動3：村落共同体の ECCD への参画促進



第3期で新たに加わる5村において、幼稚園運営委員会を設立し、早期幼児教育の概念や運営委員会に期待される役割、他村での委員会の事例紹介を行います。

(写真：2期で実施した運営委員会研修の様子)



地域が幼稚園の活動を支える仕組みとして、現在まで3村で実施してきた所得創出活動の成果と学びを、他の村々にも幅広く共有していきます。

(写真：運営委員会メンバーと所得創出活動の実施状況を確認する SCJ 駐在員)



幼稚園での子どもたちへの給食の定期的な提供と多様な栄養素の確保が、多くの幼稚園で課題として挙げられていることから、今期の活動ではモデル菜園を実施します。

(写真：郡事務所から支給された牛乳を飲む子どもたち。牛乳のみで他地域で見られるような食料の提供は現在まだ出来ていません)